



水田台帳を利用した地域機関の取組みについて紹介します。

(1/2)

今回紹介する団体: 水土里ネットふくい、
地域機関(2協議会、市、農業委員会)

取組概要

内容: 水田台帳を、水土里情報利活用促進事業で整備した農地筆・区画と結合して地図化。農業再生協議会、水稻防除協議会、市、農業委員会が同じ地図情報を利用して、それぞれが必要とする主題図を出力し、業務に活用。

経緯: ①各機関は水田台帳の情報を反映した地図の作成を、その都度手作業により行っていたため、多大な労力と時間を要していた。

②水土里情報利活用促進事業により農地筆・区画、航空写真が整備されたことから、担い手育成総合支援協議会(現在: 農業再生協議会)に対し水田台帳の地図化を提案。突合を実施。

③地図化された水田台帳を利用して、各機関は以下の主題図を作成。

1. 農業再生協議会は「水田転作の確認図」※1
2. 水稻防除協議会は「水稻防除の実施位置図」※2
3. 市は「人・農地プランの農地利用図」※1
4. 農業委員会は「農地の利用状況調査位置図」

※1. 図面作成を土連が受託。※2. 業務支援プログラムを土連が作成。

水田防除出力支援メニュー

- 結合書を取り込みます。
- 結合書の変更を確認します。
- 作物名の定義を行います。
- 水田筆の選択を行います。
- 地図が更新の確認します。

選択面積集計リスト

選択1	選択2
59.481	
41.651	10.584

水田筆選択 (細目書形式)

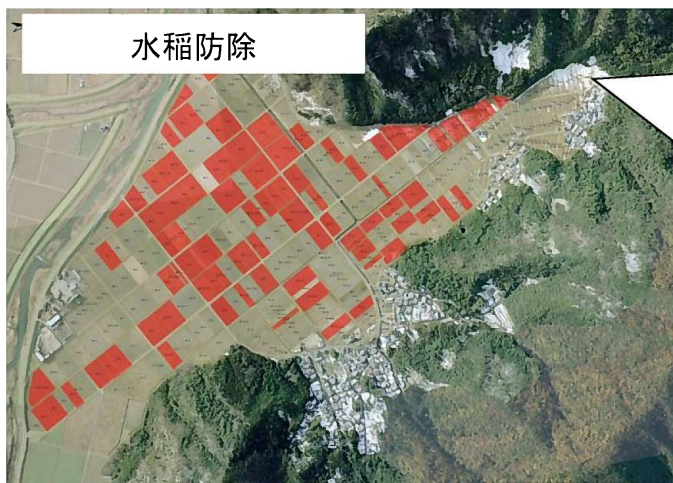
筆番	区画	面積	作物	転作	選択	選択	
0001	001	6-24	1.650	1.650	休耕(稲作)	選択	選択
0002	001	18-27	1.369	1.369	休耕(稲作)	選択	選択
0003	001	22-19	1.400	1.400	休耕(稲作)	選択	選択
0004	001	37-42	1.460	1.460	休耕(稲作)	選択	選択
0005	001	42-22	1.320	1.320	休耕(稲作)	選択	選択
0006	001	55-8	2.840	2.840	休耕(稲作)	選択	選択
0007	001	25-15	1.210	1.210	休耕(稲作)	選択	選択
0008	001	29-6	2.750	2.750	休耕(稲作)	選択	選択

結合

水田台帳の情報を航空写真と結合して地図化するプロセスを示しています。

期待される効果

- ・地図作成にかかる労力、時間が大幅に低減される。
- ・地図情報の共有により、整備の重複投資を回避。



水稲防除

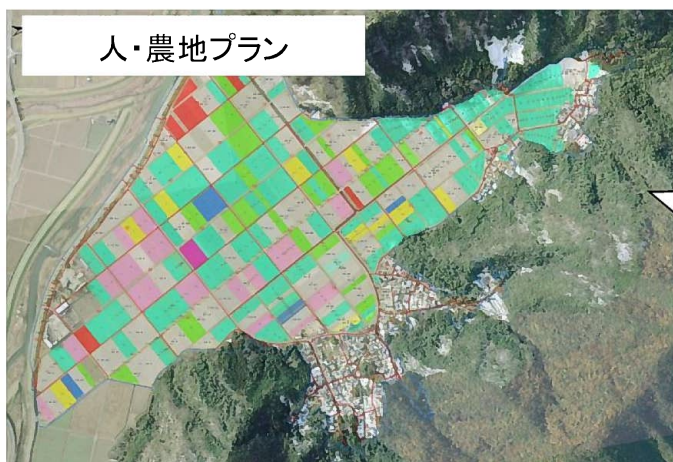
申し込みの受付処理(市)は筆の選択のみとし、他の入力項目(氏名、所在、面積、品種等)を省くことで、処理の迅速化と入力ミスを防ぐことが可能。
防除の実施(JA)においては、全体の把握を画面上で確認。ブロック割、農薬量のシミュレーションが容易となり、作業の効率化が図られる。

他の機関が行う現地確認等において、既に確認されている農地を調査対象から除外することにより、効率的な調査が可能となる。



農地の利用状況調査

地図上で所在と耕作者の把握が容易に行えることから、規模拡大等の検討をスムーズに行うことが可能。
また、データの蓄積を行うことにより、集積状況の把握も可能。



人・農地プラン

今後の活用予定

JAが保有する情報(食味値等)との関連付けを行い、営農管理に活用。

■お問い合わせ先

福井県土地改良事業団体連合会 事業部土地改良課 0776-23-7775(直通)

農林水産省農村振興局整備部設計課計画調整室(横田、溝添) 03-6744-2212(直通)